

目次

決算説明資料

I. 2026年3月期 第2四半期決算

2026年3月期 第2四半期 決算概要 (P/L)	...	01
営業利益増減要因分析	...	02
セグメント別四半期業績推移	...	03
2026年3月期 第2四半期 決算概要 (B/S)	...	04
連結CFの状況	...	05
設備投資額・研究開発費	...	06
地域別決算概要	...	07

II. 2026年3月期 第2四半期実績

2026年3月期 第2四半期実績 (期初計画vs第2四半期実績)	...	08
-------------------------------------	-----	----

III. 2026年3月期 通期業績予想

2025年3月期 通期業績予想 (前回予想vs第2四半期修正予想)	...	09
--------------------------------------	-----	----

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

東証プライム市場 6699

2025年11月

2026年3月期 第2四半期 決算概要 (P/L)

- 自動車機器事業：主に米国及び中国での内燃機関搭載車の増産の影響により増収増益
- エネルギーソリューション事業：売上高は海外メーカー参入による競争激化及びお客様内在庫調整による押し下げ要因があるも需要が回復し増収
材料費率改善等により利益は増益
- 電子機器事業：売上高は国内お客様需要の増加はあるもののインドの冷夏によるエアコン需要落ち込みにより減収
セールスミックス及びものづくりの省人化が進み利益は増益
- その他のトピック：当期は為替差益1.6億円計上(前期は4.6億円の為替差損)
金融コスト高騰による支払利息5.1億円計上(前期は3.6億円)
当期：法人税等6.2億円(前期は5.3億円)

(百万円)	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期			
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	44,095	100.0%	46,628	100.0%	+2,532	+5.7%
自動車機器	16,801	38.1%	19,279	41.3%	+2,477	+14.7%
エネルギーソリューション	11,143	25.3%	11,995	25.7%	+851	+7.6%
電子機器	15,609	35.4%	14,825	31.8%	▲783	▲5.0%
その他事業	541	1.2%	528	1.1%	▲12	▲2.3%
営業利益	6	0.0%	1,388	3.0%	+1,382	-
自動車機器	▲184	▲0.4%	566	1.2%	+751	-
エネルギーソリューション	952	2.2%	1,313	2.8%	+361	+37.9%
電子機器	490	1.1%	627	1.3%	+137	+27.9%
その他事業	▲203	▲0.5%	▲58	▲0.1%	+144	-
共通	▲1,049	▲2.4%	▲1,061	▲2.3%	▲11	-
経常利益	▲704	▲1.6%	1,146	2.5%	+1,851	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,035	▲2.3%	425	0.9%	+1,460	-
R O E	▲10.5%		3.7%		+14.2pt	
営業利益率	0.0%		3.0%		+3.0pt	

※1USD=152.78円

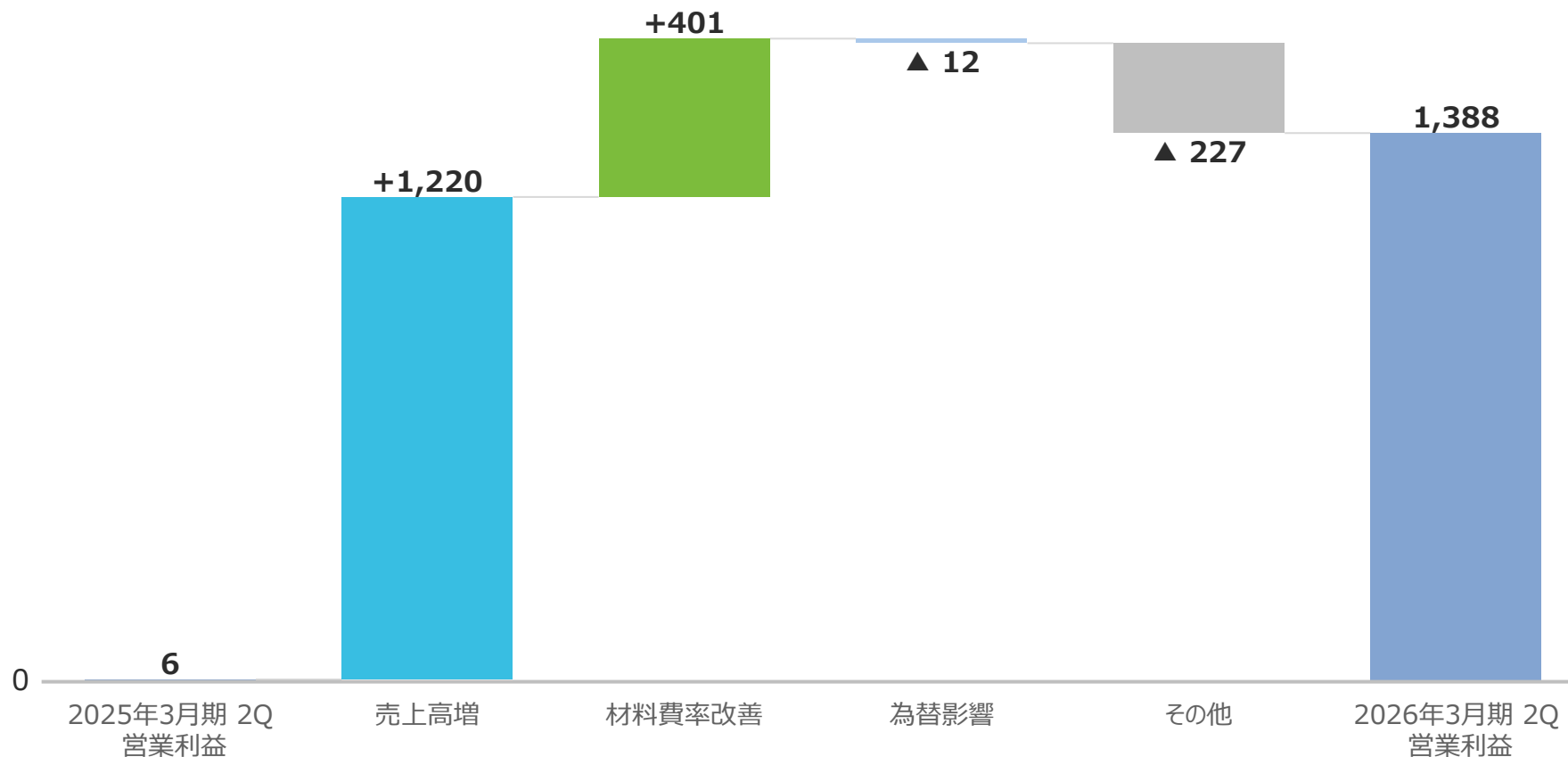
※1USD=146.03円

営業利益増減要因分析

- 売上高増は主に自動車機器事業におけるお客様需要増の影響
- 材料費率改善は主にエネルギーソリューション事業及び電子機器事業での改善による影響
- その他は主として自動車機器事業での生産増による原価増

営業利益増減要因

(単位：百万円)

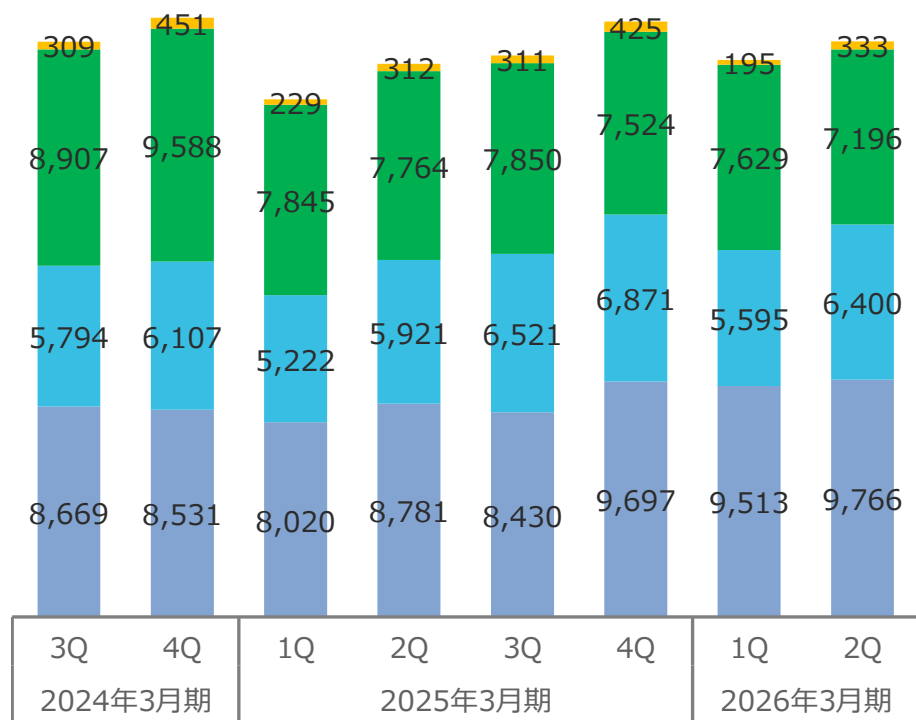


セグメント別四半期業績推移

- 自動車機器事業: お客様需要の増加により売上は増加傾向、当2Qの利益は関税及びレアアース問題により減少
- エネルギーソリューション事業: 売上高は前期から回復基調、当2Qの利益は売上増の他保険回収増加により当1Q対比増加
- 電子機器事業: 売上高、利益ともに横ばいで推移

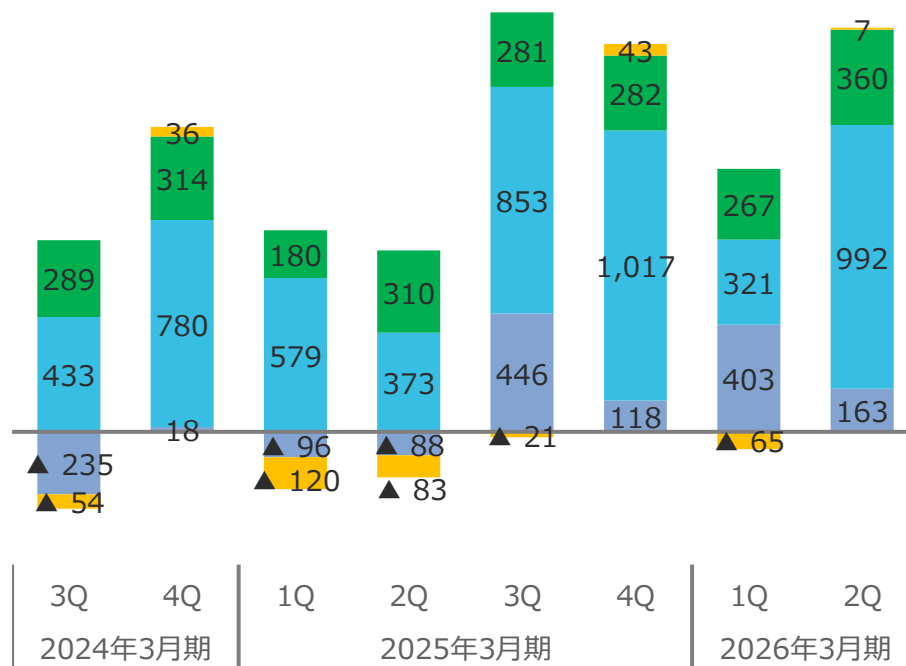
セグメント売上 (四半期・百万円)

■ 自動車機器
■ エネルギーソリューション
■ 電子機器
■ その他事業



セグメント利益 (四半期・百万円)

■ 自動車機器
■ エネルギーソリューション
■ 電子機器
■ その他事業



2026年3月期 第2四半期 決算概要（B/S）

- 棚卸資産は7.7億円増加、主な要因はインドの冷夏及びレアアース問題による影響
- 固定資産は4.9億円減少、有形固定資産の償却が進み9.0億円減少、長期前払費用3.6億円増加
- 有利子負債は1.6億円減少、借入金17.0億円増加、約定弁済14.7億円減少、社債の償還2.6億円減少

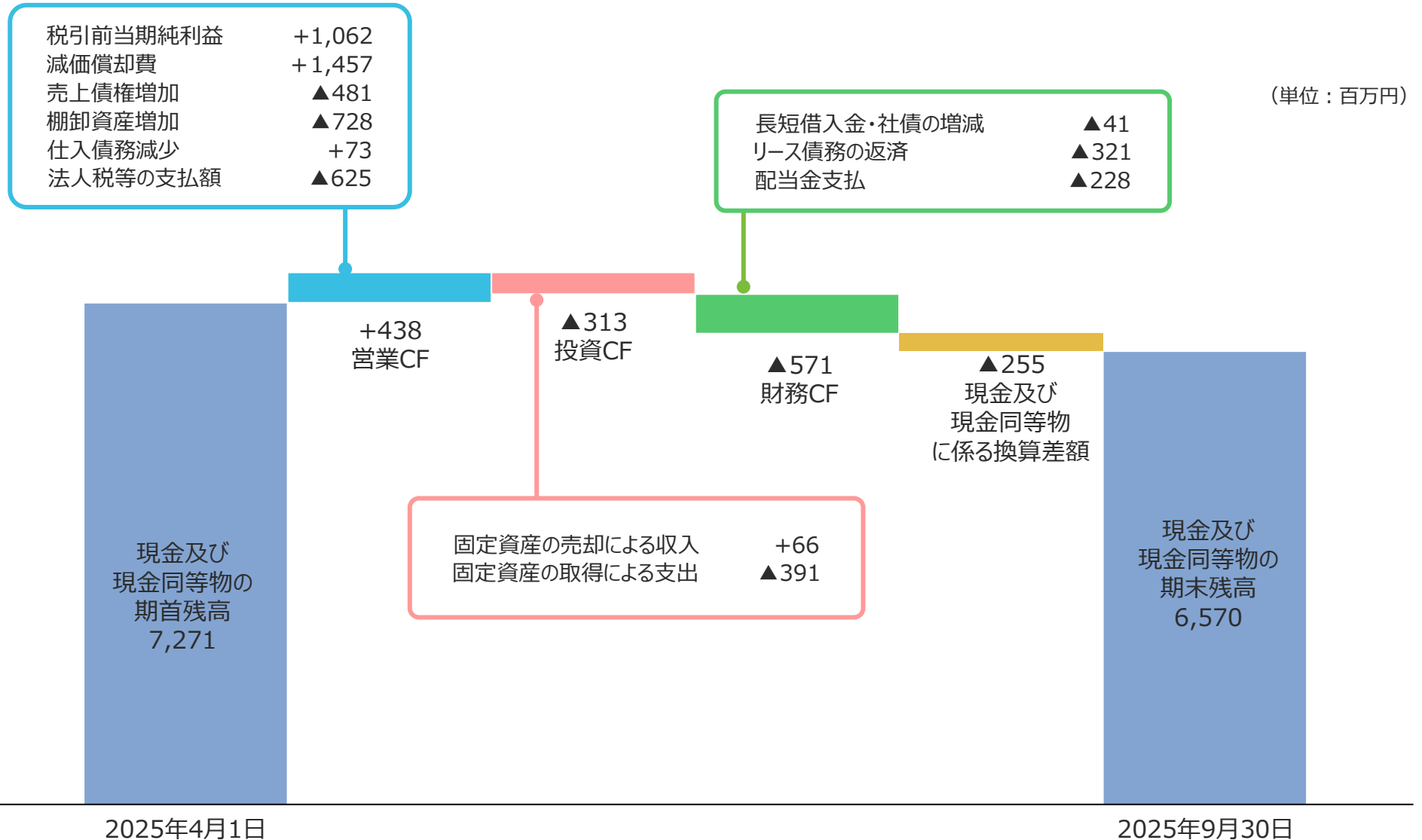
(百万円)	前期 2025年3月期 第4四半期	当期 2026年3月期 第2四半期	前期末比
	実績	実績	増減額
流動資産	50,928	51,259	+331
現預金	7,492	6,782	▲710
受取手形・売掛金	13,156	13,424	+267
棚卸資産*	24,719	25,493	+773
固定資産	28,350	27,856	▲494
有形固定資産	19,002	18,099	▲903
総資産	79,278	79,115	▲162
支払手形・買掛金	10,059	10,344	+284
電子記録債務	4,532	4,470	▲61
有利子負債**	38,474	38,311	▲163
負債	67,725	67,541	▲183
自己資本	11,390	11,396	+6
自己資本比率	14.4%	14.4%	+0.0pt
純資産	11,553	11,573	+20

*棚卸資産＝商品及び製品＋仕掛品＋原材料及び貯蔵品

**有利子負債＝短期借入金＋1年以内償還社債＋1年以内返済長期借入金＋社債＋長期借入金＋リース債務

連結CFの状況

- フリーキャッシュフローは、2025年度3月期の+29.4億円から+1.2億円に悪化（▲28.2億円）



設備投資額・研究開発費

■ 設備投資、研究開発費、減価償却費ともにほぼ横ばい

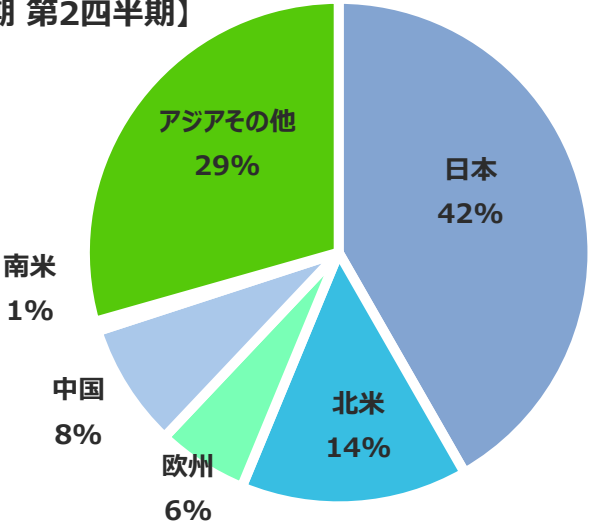
(百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期		
	実績	実績	増減額	増減率(%)
設備投資	729	722	▲7	▲1.0%
自動車機器	304	343	+39	+12.8%
エネルギーソリューション	81	142	+61	+75.3%
電子機器	70	61	▲9	▲12.9%
その他事業	75	15	▲60	▲80.0%
共通	198	159	▲39	▲19.7%
研究開発費	1,603	1,624	+21	+1.3%
自動車機器	511	562	+51	+10.0%
エネルギーソリューション	860	867	+7	+0.8%
電子機器	216	185	▲31	▲14.4%
その他事業	-	-	-	-
共通	14	9	▲5	▲35.7%
減価償却費	1,490	1,457	▲33	▲2.2%
自動車機器	1,128	991	▲137	▲12.1%
エネルギーソリューション	10	99	+89	+890.0%
電子機器	241	271	+30	+12.4%
その他事業	60	39	▲21	▲35.0%
共通	48	55	+7	+14.6%

地域別決算概要

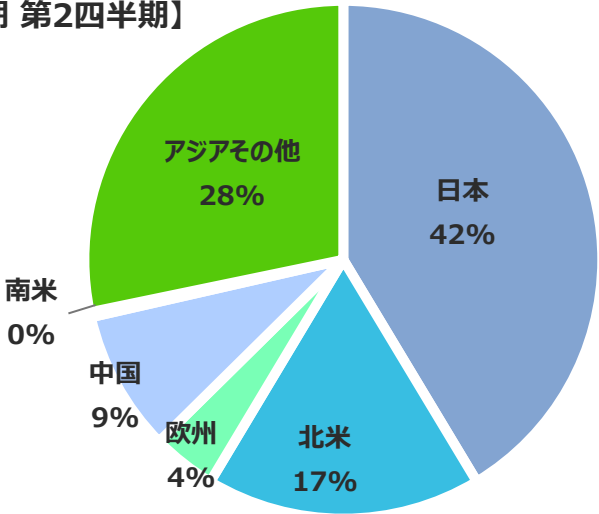
- 日本はすべての事業でお客様需要増
- 北米及び中国は電動車の需要減速による内燃機関搭載車の増産影響で自動車機器事業の販売増
- 欧州は一部製品の終息により自動車機器事業の販売減

地域別売上高（％）

【2025年3月期 第2四半期】



【2026年3月期 第2四半期】



地域別実績

(百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期		
	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
日本	19,431	19,888	18,397	19,293	+896	+4.9%
北米	6,252	6,660	6,401	8,027	+1,626	+25.4%
南米	0	0	268	146	▲122	▲45.5%
欧州	2,835	4,669	2,559	1,869	▲690	▲27.0%
中国	4,657	3,584	3,503	4,117	+614	+17.5%
アジアその他	10,087	10,174	12,964	13,173	+209	+1.6%

2026年3月期 第2四半期実績（期初計画vs第2四半期実績）

- 自動車機器事業： 関税の影響を受けるも主に米国及び中国での内燃機関搭載車の増産の影響により増収増益
- エネルギーソリューション事業： 海外メーカー参入による競争激化、リプレイス販売の遅れにより売上減収、研究開発費の抑制等により利益横ばい
- 電子機器事業： 主要なお客様需要増により増収、材料費率が悪化するも原価低減活動により増益
- その他のトピック： 経常利益は、営業利益の増益、為替が円安に進んだことで大幅な増益

(百万円)	2026年3月期 期初計画		2026年3月期 実績			
	第2四半期	構成比(%)	第2四半期	構成比(%)	期初計画比 増減額	期初計画比 増減率(%)
売上高	46,400	100.0%	46,628	100.0%	+228	+0.5%
自動車機器	17,500	37.7%	19,279	41.3%	+1,779	+10.2%
エネルギーソリューション	14,200	30.6%	11,995	25.7%	▲2,204	▲15.5%
電子機器	14,100	30.4%	14,825	31.8%	+725	+5.1%
その他事業	600	1.3%	528	1.1%	▲71	▲11.9%
営業利益	750	1.6%	1,388	3.0%	+638	+85.2%
自動車機器	120	0.3%	566	1.2%	+446	+372.2%
エネルギーソリューション	1,300	2.8%	1,313	2.8%	+13	+1.1%
電子機器	420	0.9%	627	1.3%	+207	+49.5%
その他事業	0	0.0%	▲58	▲0.1%	▲58	-
共通	▲1,090	▲2.3%	▲1,061	▲2.3%	+28	-
経常利益	130	0.3%	1,146	2.5%	+1,016	+782.1%
当期純利益	▲60	▲0.1%	425	0.9%	+485	-
ROE	▲0.5%		3.7%		+4.2pt	
営業利益率	1.6%		3.0%		+1.4pt	
設備投資	2,411		722		▲1,689	▲70.1%
研究開発費	2,249		1,624		▲624	▲27.8%
減価償却費	1,520		1,457		▲62	▲4.1%

※ 1 USD = 133円

※ 1 USD = 146.03円

2026年3月期 通期業績予想（前回予想vs第2四半期修正予想）

- 売上高は、自動車機器事業は引き続き増産傾向であるものの、エネルギーソリューション事業では海外メーカー参入による競争激化の影響で上期同様厳しい状況が見込まれ減収、営業利益は、研究開発費の抑制、ものづくりの省人化等を進め、前回予想を維持
- 経常利益については、為替相場の変動影響により前回予想から上振れ
- 当期純利益は、経常利益の増加の影響で税金費用の増加が見込まれるも前回予想を上回る

(百万円)	2026年3月期 前回予想		2026年3月期 第2四半期修正予想			
	通期予想 (5月28日時点)	構成比(%)	通期予想 (11月14日時点)	構成比(%)	前回予想比 増減額	前回予想比 増減率(%)
売上高	94,300	100.0%	91,700	100.0%	▲2,600	▲2.8%
自動車機器	35,000	37.1%	36,950	40.3%	+1,950	+5.6%
エネルギーソリューション	29,000	30.8%	24,550	26.8%	▲4,450	▲15.3%
電子機器	29,000	30.8%	29,200	31.8%	+200	+0.7%
その他事業	1,300	1.4%	1,000	1.1%	▲300	▲23.1%
営業利益	2,000	2.1%	2,000	2.2%	-	-
自動車機器	450	0.5%	920	1.0%	+470	+104.4%
エネルギーソリューション	2,700	2.9%	2,350	2.6%	▲350	▲13.0%
電子機器	1,000	1.1%	1,000	1.1%	-	-
その他事業	0	0.0%	▲120	▲0.1%	▲120	-
共通	▲2,150	▲2.3%	▲2,150	▲2.3%	-	-
経常利益	800	0.8%	1,150	1.3%	+350	+43.8%
当期純利益	250	0.3%	380	0.4%	+130	+52.0%
ROE	2.2%		3.8%		+1.5pt	
営業利益率	2.1%		2.2%		+0.1pt	
設備投資	4,465		2,200		▲2,265	▲50.7%
研究開発費	4,372		3,820		▲551	▲12.6%
減価償却費	3,205		3,140		▲65	▲2.0%

※ 1 USD = 133.00円

※ 1 USD = 139.00円